

CONTENTS

脳梗塞の最新治療
診療変更のお知らせ
検査科のご紹介
「人間ドック」の由来
コンシェルジュ日記

情報発信

ステーション

(財)日本医療機能評価機構認定病院
(社)日本病院会
人間ドック・健診施設認定病院
特定医療法人 緑社会

金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867)52-1191 FAX 52-1917
http://www.kaneda-hp.com

脳梗塞の最新治療

副院長 遠部 英昭

ある日の昼頃、急にしゃべれなくなり右半身が動かなくなつた方が、救急車で金田病院に来院されました。直ちに緊急MRI検査を行い、発症後2時間以内の脳梗塞と診断、tPA(商品名アクチバシン)と呼ばれる薬を静脈内に持続的に注射する脳梗塞の新しい治療を行いました。すると、それまで動かなかった右手が少しずつ動くようになり、皆が見守る中で言葉もはつきり出るようになりました。そして約2週間後、全く後遺症もなくお元気に退院されました。当院での実際の経験です。



tPAはとても強力な血栓(血の塊)を溶かす薬です。この薬をできるだけ早い時期に注射し、脳の血管につまっていた血栓を溶かして運動まひや言葉の障害を治療します。この画期的な治療法が金田病院ではすでに行われています。劇的によくなることが多いのですが、強力な薬だけに様々な注意も必要で、研修を受けた専門の医師が治療に当たることになっています。当院では、脳神経外科医師(日本脳神経外科学会専門医2名)がこの研修を受け治療を行っています。

もっとも大事な点は「症状が現われてから3時間以内に治療を始めること」です。3時間を過ぎると脳出血などの重い合併症を引き起こすことがあります。CTやMRIなどの検査に必要な時間を考えると、発症後2時間以内に受診していただく必要があります。手足のしびれ・運動まひ・言葉のもつれなどの疑わしい症状があれば様子をみたりせず、一刻も早く受診してください。脳梗塞の最新治療は発症から治療開始までの時間が重要です。

診療変更のお知らせ

糖尿病内科

4月より

廣川泰嗣医師の異動に伴い
早川尚雅医師が
担当いたします。

尚、診療日は従来通りです。

腎臓内科・透析科

4月より

浪越為八医師の診療日を
毎週水曜日に変更いたします。
尚、診療時間は従来通りです。

眼科

4月より

守本典子医師の診療日を
毎週金曜日の
午前10時～12時
午後2時～4時
に変更いたします。
週一回の診療になりました。

ご迷惑を承願いたします。



検査科のご紹介

中央検査科技師長 内藤 絹代

皆さまがお体の不調で病院にかかられたとき、

医師は問診や視・触診である程度の

病気を考えますが、さらに詳しく

診断するためには検査が必要です。

人間ドックや健康診断にも

検査が欠かせません。

私たちは皆さまから

採取させていただいた血液や尿の検査、

心電図などの検査を

迅速に行い、体の機能や

状態の情報を得ることが出来ます。

それらの検査データは、

診断や治療方針を決める上で

重要な情報源として活用されます。

このような検査を「臨床検査」といいます。



中央検査科は、細胞検査士4名（内、国際細胞検査士3名）、超音波検査士2名（内、体表臓器2名 消化器2名）、二級臨床病理技術士（血液学、臨床化学）1名等、臨床検査技師6名と検査補助者3名の総勢9名で検査業務を行っています。

ここでは日頃皆さまが受けておられる検査についてご紹介し、理解を深めていただけたら幸いに思います。臨床検査には大きく分けて「検体検査」と「生理検査」があります。

「検体検査」とは、血液、尿、痰、組

織など体から得られる検体を、さまざまな化学反応や免疫反応を用いて分析し、あるいは顕微鏡により形態学的に検査します。熟練した臨床検査技師と、コンピュータによる精度管理が厳重に行われています。

「生理検査」とは、心電図、超音波検査、呼吸機能検査、脳波など、体から直接得られる情報をデータとして記録するものです。また、皆様の検査に対する不安を少しでも和らげていただけるよう、接遇やBGMにも配慮しています。

金田病院では、夜間・休日の救急患者さまにも安心して受診していただき、適切な診断や治療が行えるように、臨床検査技師が24時間検査体制を組んでいます。平成15年11月の電子カルテシステムの全面稼働を契機に、皆さまの待ち時間の改善とともに、検査精度の一層の向上を図っています。

また、栄養サポートチーム（NST）、糖尿病教室、輸血療法委員会、感染対策委員会、業務改善委員会等のスタッフとして、院内活動にも積極的に参加しています。

特定医療法人 緑社会 理念

奉仕
仁愛
誠実
研鑽
調和



金田病院 理念

- 一、金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二、金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「亜急性期医療」、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

基本方針

- 一、金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 二、金田病院は、地域の人々と、ゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三、「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四、根拠に基づく公平な医療を提供します。
- 五、診療は、医師の説明と、患者さまの選択に基づいて行います。

「人間ドック」の由来

人間ドック・健診課 課長 秋田 育江

人間ドックという言葉は、

そもそも船のドック入りに由来しています。

船は長い航海の後、

『ドック(dock)』に入って疲れを癒し、

傷ついたところを直し、

安全のための点検を行います。そして

再び長い航海に出ます。人も同じです。

人生という長い航海の安全のためには、

定期的な健康チェックが欠かせません。

人間ドックを受診されることによっ

て、体の変調を自覚する前に各部

位を検査し、早期に病気を発見で

きます。また、人間ドックを受診

された方に生活習慣など近い将来

病気になる要因がある場合は、そ

れらを改善するためのアドバイス

をさせていただきまます。病気になる

らないよう予防することも、人間

ドックの大切な役割のひとつです。

当院でも健康管理のために人間

ドック等を受診される方が増えて

います。昨年一年間に約3400

名の方が、金田病院の「人間ドック」

「政府管掌の生活習慣病予防健診」

「真庭市国保ドック」「基本健康診査」



人間ドック直通電話
0867-52-1469
イイヨドック

「健康診断」をご利用くださいまし
た。

当院は、(社)日本病院会「人間
ドック・健診施設機能評価認定病院」
に、岡山県でいち早く認定されま
した。人間ドック認定医をはじめ、
各分野の医師による診断や健康相
談を通じて、健康管理のお手伝い
をさせていただいています。また、
マンモグラフィ検診では、「マンモグ
ラフィ撮影認定技師評価A」を取得
した女性技師が専属で撮影いたし
ます。

あなたのかけがえのない健康を
守るため、人間ドックをお役立て
ください。

「コンシェルジュ日記」

コンシェルジュ
細田 麻衣子

コンシェルジュとしてお世
話になり一年が経ち、「〇〇
話になり「ちょっと手伝っ
て下さい」「〇〇につい
てもらえますか」「〇〇につい
て聞きたいのですが」とお声
を掛けていただけたことが増
え、私は感謝とともにやりがい
も感じるようになりました。

先日、ご来院の方にこのよう
なお言葉をいただきました。

『病を抱えて病院に来るとき、
一番嬉しいことは何だと思いま
すか?』私は、「早く診察をし
てもらえること」や「確実な医療
を受けられること」を思い浮か
べました。ところが、いただい
たお答えは全く違うものでした。

『それは安心してできる空気です。よ
その安心できる空気が金田病院
にはあります。』と仰ってください
いました。病院という場所にて

だわって考えていた私はハッと
しました。安心できる空気はひ
とりで創られるものではなく、
病院全体の雰囲気やスタッフ一
人ひとりの思いを感じてくださ
ったのだと思いました。このよう
なお言葉をいただき、私は本当
に嬉しくなりました。これから
も皆さまに安心してご来院いた
だき、安心してお帰りいただけ
る病院を目指し、心を込めてお
手伝いさせていただきます。



コンシェルジュ日記は金田病院
ホームページでもご覧いただけます

編集後記

「毎回読んでますよ。なるほどと
思うことがよくあります。」
このような感想をいただきました。
ありがとうございます。

地域医療連携室長 田中聖隆
社会福祉士 有本紀子

経営企画室主任 長田寛子
電算室主任